

令和7年度 第3回子ども・子育て会議 議事録

開催日時	令和8年2月2日（月）18時30分から20時まで		
開催場所	辰野町役場 大会議室		
出席者数	26人 【委員】 13人 ※敬称略、順不同 ・岡森 美晴 保育園保護者協議会長 ・久保田 愛 学童クラブ保護者会長 ・倉科 正豊 聖ヨゼフ幼稚園 園長 ・齊藤 美幸 長野県辰野高等学校 教頭 ・尾戸 仁美 つくば開成学園高等学校 教諭 ・宮原 俊一 辰野町校長会長 ・小澤久仁子 主任児童委員代表 ・有井 直美 学童クラブ支援員代表 ・赤羽 美香 辰野町社会福祉協議会事務局次長補佐 ・古村 幹夫 辰野町議会 福祉教育常任委員 ・林 まどか 識者（令和6年度子ども・子育て会議会長） ・有賀美智代 中央保育園 園長 ・大久保智恵 子育て支援センター長／病児・病後児保育施設長 【町】 ・武居町長、中谷副町長 【事務局】 ・子育て応援課 高倉課長、赤羽、田中、井出、野澤、桜井 ・保健福祉課 矢島課長、赤羽 ・学校支援課 竹村課長、宮原 【受託者】 ・特定非営利活動法人 SCOP 山本 啓司		
会議の公開	公開（傍聴できる）	傍聴者数	0人
配付資料	① 会議次第 ② 辰野町子ども計画（素案）令和8年度～令和11年度 ③ 辰野町子ども計画成果指標一覧及び進捗管理指標 ④ 辰野町子ども計画（素案）への意見 ⑤ 辰野町こどもの意見表明に関する報告 ⑥ 2025 たつの子育て応援さぼーとBOOK		
会議概要	1. 開会 2. 町長あいさつ 3. 会長あいさつ (副町長あいさつ)		
	4. 協議事項 (1) 辰野町子ども計画（素案）について（事務局 資料②③説明） 補足： ・第2回の会議において、子ども・若者・子育て家庭を取り巻く環境については、子どもの生活実態調査の結果を併せて説明させていただいたが、この調査以外にも各種関係する調査を基に、計画に求められるであろう目標と取り組みをこの計画に落とし込んでいるところ。		

【計画書 P21 以降】

- ・計画書の 21 ページから 28 ページが基本目標 1 にかかる取り組み。現状と課題を前提にし、22 ページからは主要政策の 1-1 「誕生前から乳幼児期までの支援」、25 ページからは主要施策 1-2 「学童期から思春期までの支援」、27 ページからは主要政策 1-3 「青年期以降の自立と自己実現の支援」と、それぞれの主要施策が更に細分化され、事業ごとに記載されている。基本目標 2、3 も同様の記載の仕方となる。

【計画書 P38 3-2-2-2】

- ・当課として、現在検討の手前の研究段階のものになるが、子どもや若者の社会参画の機会として、学生自らが必要となる居場所を運営することにより自己有用感の形成を期待する取り組み。今後の課題となることが推測される。

【計画書 P41】

- ・41 ページ以降は資料編として、この計画を推進していくために必要となる取り組みを、事業レベルで落とし込んでいる。こちらは参考資料として資料編でまとめていく予定。
- ・こども計画 成果・進捗管理指標一覧の政策（大）の次にNo.が記載されているが、このNo.が資料編の事業一覧の施策に当てはまるもの。
- ・(資料②：成果指標・進捗管理指標の目標値「令和 12 年度」は「令和 11 年度」の誤り)

【こども計画 成果・進捗管理指標一覧（資料③ 1 枚目）】

- ・計画書の成果指標が空欄であるが、ここには「成果指標一覧」1 枚目の指標がそれぞれに入る。
- ・こども計画の計画期間（4 年後）の令和 11 年度の達成を目指す指標として主要政策ごとに設定。
- ・この指標は町の総合計画と連動しており、「こどもの生活実態調査」等の概ね 5 年間でとっているアンケートによるものを設定。
- ・例えば 1-3 「青年期以降の自立と自己実現の支援」の指標名「将来に明るい希望を持っているとする 16-17 歳の割合」において、昨年実施した「こどもの生活実態調査」では 72.9%という数値が現状値として出ている。これを令和 11 年度には 76.5%に目標値を設定している。

【こども計画 成果・進捗管理指標一覧（資料③ 1 枚目）目標 2】

- ・一つの施策に対して、成果指標を二つ設定している。これは、経済的な困難という課題への対応と配慮が必要な家庭が地域で安心して子育てが出来る環境づくりの両面から取り組みを進め、その成果を確認していくために二つの成果指標を設定している。

【こども計画 成果・進捗管理指標一覧（資料③ 1 枚目）目標 3】

- ・子どもの権利について、内容を知っていると回答された方は、28.4%に留まっている。目標値は、半数以上の方に浸透するよう設定している。

【こども計画 成果・進捗管理指標一覧（資料③ 2 枚目以降）】

- ・計画書にある進捗管理指標も空欄となっているが、ここには 2 枚目から 4 枚目の「進捗管理指標」がそれぞれの主要施策ごとに入る。この進捗管理指標は、進捗度を 1 年度ごとに確認していくもの。

	<ul style="list-style-type: none"> ・政策の中には、担当部署をまたがっているものもあるが、その取り組みの主要となる指標の進捗度を確認することで、その施策の取り組みが抱えている課題なども見えてくるのではないかと考えている。 ・計画書の中にはデリケートな数値もあり、設定できないものもある。そのような指標は、数値で測れない場合もあるので、定性評価としてその時点でどうなのか、今後どうあるべきか、というように評価を具体的に記述していく。 <p>【こども計画 成果・進捗管理指標一覧（資料③ 3枚目）】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・3枚目の2-1-1-3、2-1-2-3は、現時点での取り組み自体は希薄だが、今後を見据えて必要になるものを取り上げている。 ・2-1-1-3は、学習相談や進路に向けた相談業務の充実を図り、2-1-2-3は、児童扶養手当対象者の現況届によってひとり親の把握に努め支援を図っていく取り組みとなる。 <p>【質疑応答】なし</p>
(2)	<p>こども意見ひろばについて（報告）（事務局 資料⑤説明） 補足：</p> <p>【辰野町こどもの意見表明に関する報告 表面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・第2回の会議では、こどもの意見表明に関する取り組みを今年度試行的に行うことを取り上げた。 ・今回の取り組みは、子どもの権利を大人から子どもまで幅広い世代に啓発していくことを、子どもの意見表明の機会として設けた。 ・このような機会は、こども計画の目標3にも掲げている子どもの権利の浸透に繋がるもの。 ・小中学校の開催日は、先生の職員会がある水曜日の放課後に先生の居ないなかで40分ほど行った。事務局も硬くない雰囲気になるよう私服で、また小学生はお菓子を食べたりジュースを飲んだりしてもらいながら、なるべく緊張しないような環境の中で開催したところ。 ・小学生は生徒会の児童が出席。中学校の生徒は一部生徒会の生徒が出席したクラスや学年もある。中には手を挙げて友達を誘って自主的に参加してくれた生徒もいた。 ・上の写真が東小学校、下の写真が辰野中学校で、このような様子で行った。 <p>【辰野町こどもの意見表明に関する報告 裏面】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・中学生の意見については現在集計中。 ・時間の設定については、学校の時間の中で行うことが非常に難しく、児童・生徒からも時間がもっとあった方がよい、もう少し大人数で行った方がよいといった感想もあり、本年度は試行的に実施し、来年度に向け、全町的に小中限らず、若者も含めてこのような機会を設けられる仕組みをつくりたいと考えている。 <p>質疑応答：＜委員＞</p> <ul style="list-style-type: none"> ・子どもの意見をこのように聞いてくれたことは、率直にまずありがたい、嬉しいと思っている。また、時間のない中で、私服での参加、お菓子やジュースまで用意があったという配慮もとてもありがたいと思う。

- ・やはり、子どもたちは大人の社会とは切り離されたような、学校の中で子どもたちの社会が成立してるような、そのような世界だと思うが、大人が子どもたちの考えを聞いてくれる場を作っていたことは、本当にありがたいと思う。
- ・先ほど試行的な取り組みということだが、これをどうやって継続的にやっていくのかということは、私もアイデアが浮かんでいるわけではないが、やはり大事なものは、目的にある「何かを変えられる」「大人がちゃんと聞いてくれる」「それが何かに繋がっている」という実感が持てることがとても大事かと思う。
- ・子どもたちは感情も豊か、色々なことを感じている。ただ、そうは言っても子どもたちは経験が少なく、それを言葉にして表現するということは非常にハードルが上がることだと思う。こういったことを継続的にやることや子どもたちの心をどうやって受け取っていけばよいかということは、大人の課題とも思う。
- ・学校として、もっと社会に繋げていくことを考えていかななくてはならないということを、課題として受け取った気がする。
- ・また一緒に今後の取り組みを話させていただきたいと思う、本当に良い取り組みに感謝する。

<回答：事務局>

- ・校長先生の言葉に背中を押されるような発言をいただき、また来年度に向けて継続的に進めるよう仕組みをつくっていききたい。
- ・校長先生をはじめ、担当される方や教育委員会の協力もあって今回は行うことができた。それぞれ関係各署にまた協力をお願いしながら、どのような形で実施できるか、それがさらに継続的に繋がれるよう検討していきたいと考えている。引き続きのご支援をお願いする。

(3) その他 (事務局 資料④説明)

補足：

【辰野町こども計画(素案)への意見】

- ・本日こども計画の説明をしたが、紙の資料も事前にお配りしたとは言え、こちらの説明も行き届いていなかった部分もあるかと思う。
- ・資料を持ち帰っていただき、整理してもらった中で意見等があれば意見用紙により事務局に意見を寄せいただきたい。
- ・来週には議員の皆さまに向けた説明も予定しているため、2/5(木)までにこの計画に対する意見等をいただければ、反映できるものは反映していきたいと考えている。寄せもらった意見は、あくまでもこの会議用の意見としていただくもの。今回この会議にて意見をもらうものは、事務局までの意見となる。忌憚のない意見を寄せてほしい。

5. その他 (事務局 資料⑥説明)

【2025 たつの子育て応援さぽーとBOOK】

- ・毎年度作成している冊子。今年度は、町内事業者から広告を募って作成した。内容は妊娠前から子育て期における町や関係団体の支援がそれぞれ掲載されている。

	<ul style="list-style-type: none"> ・今回は、事業者の広告を掲載した初の試みであったが、地域で子育てを応援しているという思いも込め、表紙と裏表紙には「つくば開成学園」3年生の富永さんにデザインをお願いした。 ・他にも子育て応援課では、出生手続きの際に健診等の書類を保管するためのクリアファイルを辰野中学校美術部の生徒にデザインしていただいた。 ・このような協力が、子どもや若者が社会の一員としての主体性を高めていく取り組みに寄与できるものではないかといった期待もある。 ・次年度以降も当課にて、このような冊子に限らずこうした活動も継続していきたいと考えている。その一環として、今日はこのさぼーとBOOKを紹介した。 ・子育てに関する情報が詰まった冊子。何かお気づきの点があれば事務局まで。 <p>質疑応答：なし</p>
6.	閉会